

# Hope Soap Project in Cambodia

## 実施報告書



東京医科歯科大学大学院

今岡直毅

### 【実施日】

2015 年 2 月 21 日～2015 年 3 月 06 日

### 【実施場所】カンボジア

夢ホーム（プノンペン近郊の養護施設）★

タサエン村の日本語教室（バットアン州内の貧困地域）★



### 【調査目的・内容】

1. カンボジアにおける手洗い習慣・感染症予防の意識調査
2. Hope Soap プロジェクトの実施・周知
3. カンボジアの都市部と農村部における衛生環境の調査

### What is a Hope Soap project ?





## 【調査方法】

### 1. カンボジアにおける手洗い習慣の調査



アンケート用紙による調査を行い、手洗いの頻度や感染症予防の意識調査を行った。

アンケート調査が円滑に行えるように、クメール語に翻訳した。



កម្មវិធី រំលឹក សាប៊ូ "Hope" នៅប្រទេសកម្ពុជា  
~Hope soap project in Cambodia~



ប្រុស  or ប្រុស   
Boy or Girl



Q1. តើ ប្អូន មាន អាយុ ប៉ុន្មាន ឆ្នាំ ? ? クメール語  
(How old are you ?) 英語 (Years)



Q2. តើ ប្អូន ចូលចិត្ត លាង ដៃ ទេ ?  
(Do you like washing your hands ?) (Yes  / NO 

Q3. តើ ប្អូន លាង ដៃ ប៉ុន្មាន ដង ក្នុង មួយ ថ្ងៃ ?  
(How many times do you wash your hands in a day ?)

Q4. តើ ប្អូន ចេះ ថា អ្វី ជា សាប៊ូ ទេ ?  
(Do you know what a soap is ?) (Yes  / NO 

Q5. តើ ប្អូន ប្រើ សាប៊ូ ដែរ ឬ ទេ ?  
(Do you use a soap ?) (Yes  / NO 

Q6. តើ ប្អូន ចូលចិត្ត ប្រើ សាប៊ូ ដែរ ឬ ទេ ?  
(Do you like using a soap ?) (Yes  / NO 

Q7. តើ ប្អូន គិត ថា ការ ប្រើ សាប៊ូ អាច ជៀស វាង ជំងឺ បាន ឬ ទេ ?  
(Do you think using a soap can prevent disease ?) (Yes  / NO 

## 2. Hope Soap プロジェクトの実施・周知

## 《 Hope Soap の作製 》

透明の石鹼の中に動物や食べ物、乗り物の形をした消しゴムを入れオーダーメイドで作製した。

Before (動物や食べ物、乗り物の形をした消しゴム)



after (石鹼で包んだ消しゴム)



### 3. カンボジアの都市部と農村部における衛生環境の調査

今回、プロジェクトの実施場所を２カ所（都市部と農村部の貧困地域）で実施した。都市部と農村部（貧困地域）における衛生環境（トイレ、洗面施設）を比較し、手洗いの習慣や感染症予防に対する意識調査を考察する。



## 【調査結果】

### 1. カンボジアにおける手洗い習慣・感染症予防の意識調査

小学校、養護施設におけるアンケート調査（53人によるアンケート結果）

Q1.

1日に何回手を洗いますか？



地域による違い

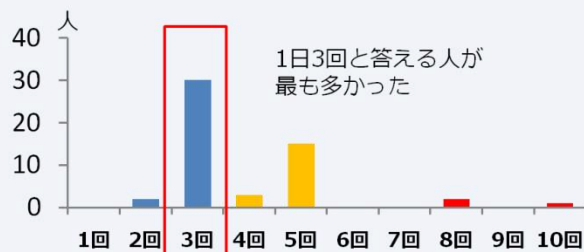
都市部 3.81 回

農村部 3.85 回

平均 3.84 回

◆都市部と農村部では手洗いの回数に差はなかった

1日の手洗いの回数



1日3回と答える人が最も多かった

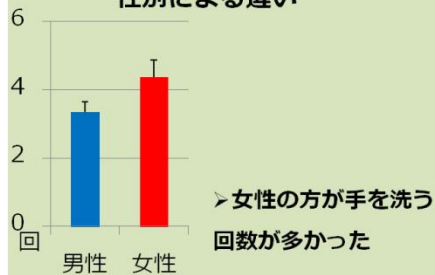
1日に手を洗う回数

日本： 10回（日本ユニセフ協会調べ）

カンボジア：3回

➢日本と比べるとカンボジアは著しく手洗いの回数が少ない

性別による違い



➢女性の方が手を洗う回数が多かった

Q2.

手を洗うことは好きですか？



都市部 Yes 100%

農村部 Yes 100%

Q3.

手を洗うことで病気を予防することができますか？



都市部

6%

yes No

農村部

11%

94%

89%

➢農村部の1割以上が感染症予防に手洗いが効果的ではないと考えている

## 2.Hope Soap プロジェクトの実施・周知

### Hope Soap Project

①Hope Soap プロジェクトの説明



日本語教室の先生（サルーン先生）に翻訳してもらい説明

②Hope Soap の配布



どの子どもたちも、目を輝かせながら、石鹼の中のおもちゃに興味津々



頑張っておもちゃを取り出しますと意気込んでいました

配布した石鹼で一生懸命に手を洗う子どもたち

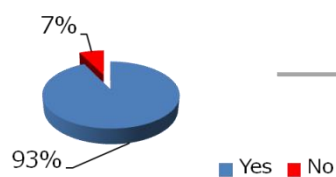


日本ユニセフ協会が提唱する「石鹼を使った手の洗い方（6つのステップ）と、20秒以上石鹼で手を洗うこと」を実践してもらった

**Q4.**

**石鹼で手を洗うことは好きですか？**

Hope Soap プロジェクト実施前



Hope Soap プロジェクト実施後



**Hope Soap プロジェクト実施により、石鹼で手を洗うことが好きだと答える人が増加した**

### 3. カンボジアの都市部と農村部における衛生環境の調査

アンケート調査による手洗い習慣の調査や感染症予防の意識調査では、都市部と農村部で著しい差はなかった。つまり、手を洗う習慣や、感染症を予防するための知識などは、都市部と農村部では変わらない。一方で、生活環境に関しては、大きな違いがあった。今回は、都市部と農村部の両方の家庭にホームステイを行い、生活面の違いについて調査を行った。

#### 【調査場所】

都市部・・・プノンペンから車で40分程で電気や水道の施設が整っている施設

農村部・・・シェムリアップから車で5時間程の村（カンボジアでも有数の地雷源かつ貧困地域で電気・ガス・水道は通っていない）

都市部（プノンペン）

トイレ



トイレ、洗面台、シャワールームが別々に備え付けられている

農村部（タサエン村）



トイレとお風呂場は同じ場所にあり、水は全て雨水

農村部（タサエン村）では、トイレットペーパーはない。用を足した後は雨水を使い、手で汚れた部位を洗う手動ウォシュレットタイプであった。

台所



水質環境



井戸の水を用いた炊事・洗濯



溜めた雨水を用いて炊事・洗濯

## 【まとめ・考察】

日本人は、1日に10回、手を洗うのに対して、カンボジア人は1日に3.8回と著しく手を洗う回数が少ない。

今回、カンボジアの都市部と農村部との2地域を対象として、手洗いの習慣・感染症予防の意識調査を行った。その結果、都市部と農村部では、手を洗う回数が一日に3.8回程度と大きな差はなかった。しかし、日本（一日に10回程度）と比べると手洗いの回数は、著しく少なかった。

日本とカンボジアの手洗いの回数の差には、どのような背景が考えられるのだろうか。

アンケートの「手を洗うことが好きですか」という質問では、驚く事に全員が「Yes」と答えた。つまり、手を洗うことは好きだが、頻繁には手を洗わない。洗うとしても、食事の前やトイレの後のみ。今回、カンボジアでホームステイをして、気付いたが、日本の様に家に帰ってきたら、手洗いやうがいをする風習や習慣はカンボジアにはなかった。この風習や習慣が日本とカンボジアにおける手洗いの回数の差につながっていると考えられる。手洗いの頻度を高める必要がある。

## Hope Soap プロジェクトの効果

カンボジアの子どもたちに「頻繁にかつ確実に手洗いの回数を増やすこと」と、「石鹸を使った正しい手の洗い方」を実践してもらうため、Hope Soap プロジェクトを行った。おもちゃが入った石鹸（クメール語では石鹸のことをサブーンという）は、老若男女関わらず多くの人に興味をもってもらった。そして、真剣に石鹸を使った手洗いを実践してもらった。その結果、「石鹸で手を洗うことは好きですか」という質問に対して、Hope Soap プロジェクト実施前では「No」と答えた人が7%いたのに対して、実施後では、実施者全員が「Yes」と回答した。また、蛇口近くに石鹸を備え付けたところ、多くの子どもたちが石鹸を意識的に使い、石鹸を使った手洗いを実践してくれた。

## 都市部と農村部における衛生環境の調査

都市部と農村部には、生活環境・設備に違いがあった。特に水質環境においては、大きな違いがあった。都市部では、井戸からくみ上げた水を使い、炊事・洗濯を行っていた。一方で、農村部では、溜めた雨水を用いて炊事・洗濯を行う。もちろん、その溜めた雨水の中には蚊やハエの死骸や葉っぱなど色々なものが混じっており、透明な水で



あるが決して綺麗な水とは言えない。また、農村部の家庭にも井戸が備え付けられている家があったが、その井戸を動かしても、一向に水は出てこなかった。都心部と農村部における、手洗いや感染症予防に関する意識には大きな違いはないが、水質環境には大きな違いがあり、農村部における水質環境の改善が必要だと感じた。

**【協力先】**

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

NP0 法人 国際地雷処理・地域復興支援の会（IMCCD）

NP0 法人 21 世紀のカンボジアを支援する会

有限会社マシ技研